

30391 ✓

教科書文庫

3
816
31-1877
20000 14247

M20.
1887

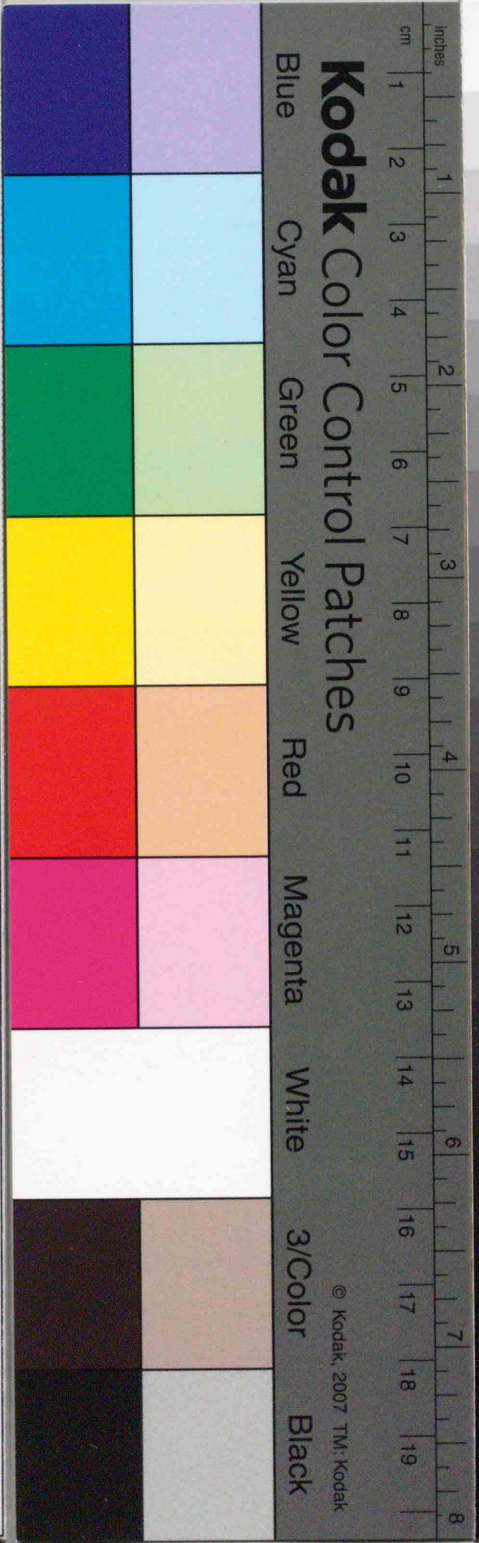
Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

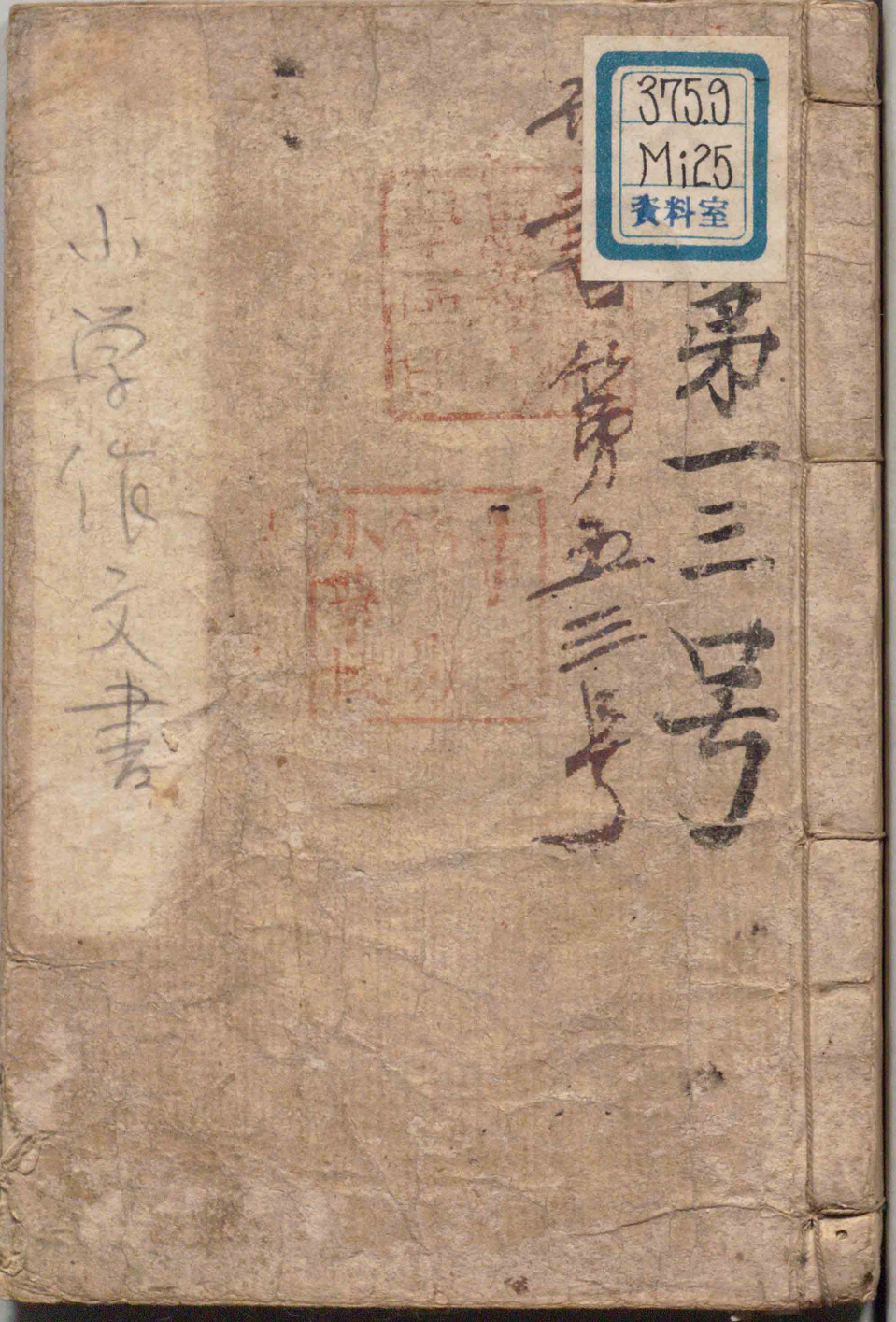
Kodak Color Control Patches



© Kodak, 2007 TM: Kodak



375.9
M:25
資料室



第三号

第五十三号

小学作文書



資料室

375.9

M:25

廣島大學
圖書印

廣島大學
教
14247
圖書

廣島大學
教
14247
圖書

甲申三月

三宅米吉著

廣島縣
惠安
學區印

小學作文書

第
項
小學校

東京 金港堂藏版

目録。

第一課	連文。(三文以上ノ連接)。
第二課	手紙ノ上書。
第三課	口上書。
第四課	同。(通用文語ノ練習)。
第五課	連文。(簡短ニスル練習)。
第六課	口上書。(通用文語ノ練習)。
第七課	受取書。
第八課	記事。
第九課	口上書。(普通ノ敬禮)。
第十課	受取書。(金錢)。
第十一課	同。(普通ノ場合)。
第十二課	一般演習。

小學作文書第三。



第一課。

連文。

次ギノ單文ヲ連接セヨ。

一。 虎ハ猫ニ似タリ。

虎ハケモノナリ。

虎ハ猫ヨリ大イナリ。

虎は猫に似たるけものにして、猫より大いなり。

二。東京ハ人多シ。

東京ハ地廣シ。

東京ハ都ナリ。

東京ハ武藏ノ國ニアリ。

東京は人多く地廣き都にして武蔵の國
にあり。

三。馬ハオトナシ。

馬ハ獸ナリ。

馬ハ能ク車ヲ引ク。

馬ハ又能ク人ヲ乗セテ走ル。
馬ハ能ク車ヲ引キ又能ク人ヲ乗
四。犬ハ賢シ。

犬ハ獸ナリ。

犬ハ能ク門ヲ守ル。

五。太郎ハ學校ニ行ク。

太郎ハ能ク本ヲ讀ム。

太郎ハ又手習ス。

六。狐ハ犬ニ似タル獸ナリ。

狐ハワルガレコシ。

狐ハ晝ハカクレテ出デズ。

狐ハ夜ニ至レバ出デテ食ヲ求ム

七。牛ハ能ク重荷ヲ負フ。

牛ハ又車ヲ引ク。

牛ノ肉ト乳汁ハ尤養ヒトナル。

八。五郎ハ川ニ行キタリ。

五郎ハ釣ヲ垂レタリ。

五郎ハ大ナル鮒ヲ釣り得タリ。

九。鯛ハ海中ニ住ム。

鯛ハ上品ナル魚ナリ。

鯛ハ色赤ク味旨シ。

鯛ハ人ノ尤好ムモノナリ。

十。楠正行ハ正成ノ子ナリ。

楠正行ハ父母ニ孝行ナリ。

楠正行ハ天子ニ忠義ナリ。

第二課。

手紙ノ上書。

手紙ノ上書ニモ、請取ニモ、願書ニモ、スベテ己レノ姓名住所ヲ記スベシ。住町區ナラバ、

何府何區何町何丁目何番地、

郡内ノ驛又ハ町ナラバ、

何府何國何郡何町何丁目何番地、

村ナラバ、

何府何國何郡何村何番地

トクハシク記スベシ。然レドモ名高キ

地ナラバ、サマデクハシク記スニ及ハズ。

住所ノ例。

一。群馬縣上野國西群馬郡高崎驛新町百番地。

又ハ

二。群馬縣高崎新町百番地。

三。東京府武藏國北豐島郡金杉村二百

五十番地。

四。東京日本橋區本兩替町十一番地。

五。新瀉縣新瀉區西堀通二町目一番地。

右ノ例ニナラヒテ、汝等各其ノ住所姓名ヲ

記セ。

住所

姓名

住所ヲバ姓名ノ右ノ上ノ方ニ小サク書クベシ。チヤウド姓名ノ肩ニ當ルガ故ニ、コレヲかたがきト云フ。手紙ニモ取ニモ先方ノ姓名即あてなヲ記セ。宛名ヲバ必己レノ名ヨリ上ニ書キ、殿又ハ様ト云フ字ヲ添フミシ。殿モ様モ皆ウヤマフ語ナリ。手紙ノ上書キニハ宛名ノ肩書キニクハシク其人ノ住所ヲ記スベシ。手紙ノ上書キノ方ハ左ノ如シ。

住所

姓名様

住所

姓名

住所

姓名殿

住所

姓名

住所長クシテ、宛名ト己レノ名ヲ上書キノ表ニ書クコト能ハズバ、宛名ノミヲ表

ニ書キ己レノ名ヲ裏ニ書クコト左ノ如クスベシ。



手紙ヲ狀袋ニ入レ其ノ口ヲ糊付ケシテ右ノ圖ノ如クメノ印ヲ書ク。之レヲ封ずるト云フ。右ノ書式ニナラヒテ汝等互ニ宛名ヲマウケテ手紙ノ上書キヲ書ケ。

第三課。

口上書。ト。以上。

口上トハ口ニテ申レ上グル語ニシテ口上書トハ其ノ口ニテ申レ上グベキ語ヲ手短ニ書キ付ケタルモノナリ。其ノ書キ方左ノ如シ。

人ヲ招ク口上書。

今日夕方ニオイデクダサレダイ。

今日夕方にはいて下されたく。

右ノ文ヲ次ギノ如クニ書キ取ルベシ。

小澤竹文書 卷三 金澤藩御用

今日夕方方に送出下されたる

以之

七月十二日

山田政吉

川口様

右ノ書面ヲ見テ左ノ事ヲ知ルベシ。

一。初メニ口上トヒクク書ク。其ノ終リニハ

二。次ギニ用事ヲ書ク。下されたりハ下されたり

以。上ト書ク。下されたりハ下されたり

い。フ謹言ヘルナリ。以。上ト書ク。下されたり

ト。云フ意ニテ終リヲ示ス語ナリ。

三。次ギニ月日ヲ小サク書ク。姓名ヲ書ク。

四。月日ノ下ニ己レノ姓名ヲ書ク。

五。次ギニ宛名ヲ書ク。宛名ハ苗字バ

カ。リニテモ、苗字ト名ヲ書キテモ宜シ。

宛名ノ下ニ様ヲ添フ。

次ギノ文ヲ右ノ書キ方ニナラヒテ書
 キ取レ。

小澤竹文書 卷三 七 金澤藩御用

一。今ばん口で下されなく。

二。市若勞がから七夜口で下されなく。

三。法くり合せ今夜口で下されなく。

次ギニアゲタル時間三人ヲ招ク口上

書ヲ書ケ。

一。明朝。二。今日午後一時。

三。明晚。四。明日午前八時。

第四課。口上書。

中。致。存。付。

次ギノ口上書及ビ返事ノ上ノ書式ニ

ナラヒテ書キ取レ。

一。今日口で下されなく。

二。承知いたし。

三。今日午後六時いたす。

四。何時にも口で下されなく。

五。情のほどにあきうひやされたくい。

六。不快に付中あわりがねい。

七。此忌遠方より到来致ゆ者少く是上
申す。

八。珍しきは品は贈り下され智りがたく
存す。

次ギノ文ヲ俗語ニテ唱へ次ギニ其ノ
返書ヲ書ケ。

一。明日うんどうに出かけの音あき
うひやされたくい。

二。夕々晩参を二いたすべくい。

三。庭の桃花一枝進上致す。

四。友がちおよりい皆今夜はソレを
れたくい。

五。刈り上げ祝ひの餅一重進上致す。

第五課 連文。

次ギノ各題ニ就キテ其ノ單文ヲ連接
セヨ。

一。犬ハ魚ヲ好ム。

二。猫ハ魚ヲ好ム。

三。鳶ハ魚ヲ好ム。

犬も猫も鳶も魚を好む。

二。紙ハ楮ニテ作ル。

紙ハガンピニテ作ル。

六。紙ハ三ツ股ニテ作ル。

紙は楮又はガンピ又は三つ股にて作

る。

三。我ハ字ヲ書クコトヲ得。

我ハ書ヲ讀ムコトヲ得。

余は字を書き、書を読むことを得。

四。老人ハ山へ柴刈リニ行ク。

老婆ハ川へセシタクニ行ク。

老人は山へ柴刈りに、老婆は川へせんたくに行く。

五。老婆ハ川ニ行キタリ。

老婆ハ洗濯シタリ。

老婆ハ流ルル桃ヲ拾ヒタリ。

老婆は川に行き、洗濯して流るる桃を拾ひたり。

六。米ハ穀物ニシテ人ノ食トナル。

菜ハ野菜ニシテ人ノ食トナル。

米は穀物、菜は野菜にして、共に人の食となる。

七。余ハ學問ヲ好ム。

次郎ハ學問ヲ好ム。

八。衣服ハ絹ニテ作ル。

衣服ハ麻布ニテ作ル。

衣服ハ木綿ニテ作ル。

九。鋏ハ家具トナル。

鋏ハ農具トナル。

鋏ハ藥トナル。

十。鴨ハ空ヲ飛ビ得。

鴨ハ水ヲクグリ得。

十一。兄ハ中學校ニ行ク。

弟ハ小學校ニ行ク。

十二。我レハ昨日讀書シタリ。

我レハ昨日習字シタリ。

十三。我レハ學問セン。

我レハ學者トナラン。

十四。麻ハ草ヨリ製シテ衣服ニ作ルベシ。

木綿系ハ草ヨリ製シテ衣服ニ作ルベシ。

絹系ハマユヨリ製シテ衣服ニ作ルベシ。

左ノ連文ノ誤リヲ正セ。

一。紙ハ楮トカンピト三ツ股ニテ製ス。

正誤。紙は楮又ははんび又はは三つ股にて製す。

二。老婆ハ川ニ老人ハ山ニ上ル。

正誤。老婆は川に行き、老人は山に上る。

三。衣服ハ絹ト布ト木綿ニテ作ル。

四。家ハ木又ハ土又ハ石ニテ作ル。

第六課。口上書。

所産ハ其ノ他日用語。

次ギノ文ヲ口上書ニ書キ取レ。

一。今日は病筆ヲ不巻いたリ。

二。傳病氣は如何に由也由何ひ申。

三。私病筆進ハ快き方に所産。

四。讀本只今由不用に由はば拝借いた。

尤く。

五。此書物長ク拝借いたリ有りがなく存。

六。明晩は由ハ来由待申。

七。所中越々趣承知いたす。

八。明朝は學校へは同道致すべく。

九。明日は古供致量は古法断り申す。

十。皆孫は揃ひ申ふ来下されたく。

十一。御釣りの為一日所同道いたす。

十二。昨日は日曜日に付摘算に同道をいた

すたく。

十三。先日拝借いたす作文書返といた

す。

十四。唯今學校より帰宅いたす。

十五。私事日本橋区本町三丁目十七番地へ

引き越す。

十六。昨日學校へ入學致す。

十七。所手紙之趣承知いたす。

十八。明晩は在宅にはば来下いたす。

十九。所金沙法いたす。

二十。多事に成程は安んじられたくは。次ぎノ俗語ヲ口上文ニ書キナホセ。

一。鴨一羽アゲマス。

鴨一羽進上仕上。

二。御母様ノ御病氣ハイカガチヨツトウ

カガヒマス。

三。母ノ病氣段々快ウゴザリマス。

四。私ハ今度神田區駿河臺甲賀町十番地

へ引キ越シマシタチヨツト御セラセ

申シマス。

五。作文書御アキナラカシテクダサイ。

六。御借り申シマシタ作文書使ニテ御返

シ申シマス。

七。明日オウチカウカガヒマス。

八。明日ハ遠方へ友人ト行キマス。

九。明日十一時ニ参リマス。

十。屏風一雙カレテクダサイ。

第七課。受取書。

受取書ハ手紙、品物、金子何ニテモ他人ヨ
リ受ケ取リタル時、其ノシルシニツカハ
ス書キ物ナリ。其ノ書キ方ハ左ノ如シ。

覺

一 手紙 一通

右 慥ニ受取也

年月日

住所

姓名

何某様

覺

一 手紙 一通

一 紙包 一ツ

學仁文書 第三 金澤堂藏

右様ニ受取也

年月日 住所 何誰

何某様

右ノ書キ方ヲ見テ左ノ事ヲ知ルベシ。
一。初メニ覺ト云フ字ヲヒクク書ク。
覺トハ後々ノオボエ即忘レヌタメニト
ノ事ナリ。
二。一ト云フ字ヲ頭ニ書キテ、受ケ取リ
タル手紙又ハ品物ノ名ヲ書ク。品物イ
クツアリテモ皆同様ニ並ベテ書クナリ。

一。物ハ一ヶ條ト云フコトニテ、只受ケ取
ル。物品分ケノシルナリ。
三。品物ノ下ニソノ數ヲ書ク。手紙ナ
ラバ幾通ト書ク。米ナラバ幾俵、薪ナラ
バ幾把、書物ナラバ幾部、幾冊等ソレソレ
物ニヨリテ書ク。
四。次ギニ受ケ取リタリト云フコトヲ
書ク。其ノ終ニ申ハ也、又ハ小也ト書ク。
也。ハ以上ノ如ク、終リヲ示ス語ナリ。
五。次ギニ年月日ヲ小サク書キ、其ノ下
ニ住所姓名ヲ書ク。住所ハ必シモ書ク
及バズ、時ニヨルベシ。
次ギニ舉グル手紙品物等ニ就キ、ソレ
ソレ受取ヲ書ケ。

小學作文書 第三 十七 金澤堂藏

- 一。友人ヨリ手紙一通。
- 二。本屋ヨリ作文書五冊。
- 三。萬屋ヨリ米三俵薪十把。
- 四。友人ヨリ紙包五ツ。
- 五。友人ヨリ風呂敷包一ツ。
- 六。吳服屋ヨリ木綿三反真綿十斤。

第八課。

記事文。

次ギノ題ニ就キテ文ヲ作レ。其ノ記
スベキ事柄ハ題ノ次ギニアゲタリ。

一。雁。

水鳥ナリ。水邊ニ集ル。秋ハ北ヨリ來ル。
春ハ北ニ歸ル。肉ハ食フベシ。
雁ハ水鳥にして、水邊に集る。秋は北より
來り、春は北に歸る。その肉は食ふべし。

二。猿。

四手アリ。形人ニ似タリ。能ク人ニ馴ル。

小學作文書 第三 金津堂藏版

能ク人ノ真似ヲナス。

三。蝶

毛虫ノ化セルモノナリ。種類多シ。

皆美シ。春夏ニ多ク出ヅ。

四。螢

夏ノ初メニ出ヅ。光ヲ放ツ。水邊ニ多シ。

小兒之レヲ取りテ籠ニ入ル。

五。富士山

駿河ノ國ニアリ。日本一ノ高山ナリ。

木生ゼズ。雪絶エズ。

六。信濃川

日本三大河ノ中ナリ。信濃ノ國ヨリ出ヅ。

北ノ方ニ流ル。越後ノ新潟ニテ海ニ入ル。

七。舟

木ニテ作ル。櫓ニテ動カス。物ヲ乗ス。

水ヲ渡ル。

小學作文書 第三 十九 金津堂藏版

學問文書 第三 金津堂藏

八。 横濱。

武藏ノ國ニアリ。五港ノ一ツナリ。

東京ヨリ八里。日本船外國船多ク泊ル。

九。 義經。

頼朝ノ弟ナリ。幼名ハ牛若丸。

軍ノ上手ナリ。

十。 辨慶。

義經ノ臣ナリ。僧ナリ。カツヨシ。

心タケシ。學問アリ。

第九課。 口上書。

口上書ヲ書クニハ心得ベキコトアリ。一。 貴キ人又ハ年長ノ人ニ遣ス時ハ上ト奉リト云フ語ヲ添フルコト多シ。トハバ申ト云フ中ニトシ存ト奉リト云フ女ノ文ニハコノ場合ニオラセト云フコト多シ。又致ト仕ト云フナリ。二。 文ノ終リニ以テノ代リニ字ト又ハテカクコトアリ。子トハ急ギ書キタル申シワケナリ。テカクハ拜スル意ナリ。女ノ文ニハテカクコト多シ。三。 宛名ノ傍ニ貴下又座下ト書スルハ

小學作文書 第三 金津堂藏

亦人ヲ敬フナリ、女ノ文ニハ、伊もとにト
 カクナドヨシ。 状袋ノ上書キモ同様ナ
 リ、 右ニ云ヒタル女ノ文ノ定メハ用ヒ
 四。 トモサレツカヘ無シ。 女ノふみハ大
 抵、 ムツカレキ字少キノミニテ、男ノ文ト
 替リタルモノニアラズ。 又、 御用向キ又
 五。 平生ノ敬ヒニハ、 様ヲ用ヒ、 御用向キ又
 八。 證文ニハ、 殿ヲ用フ。 子弟又ハ、 召使ヒノ
 人ニハ、 常ニ殿ヲ用フ。

暑中見舞ノ文。

暑氣厳しく少くとも法障

りもななく少くも伊何ひす、ニハ

類者

月日

何誰

何某様

貴下

暑氣厳まびしく少くとも

此七はりもなきひやうい
中二ふがーく

月日

たれ

何たれ様

ほもとん

住所

姓名様

座下

郵便ニテ出ス時ハ切手ヲ右ノ如クニハ
ルベシ。都合ニヨリ他ノ所ニハルトモ、
文字ニカカヌヤウニスベシ。
郵便はがきニ書ク時ハ、ウラニ用事ヲ書
キ、才モテニ住所姓名ノミヲ書クベシ。
ワガ住所姓名ハ、ウラニ書クモヨシ。才
モテ左ノ上ノ方ニアル印ニ字ノカカ
ラヌヤウニスベシ。

住所

姓名様

住所

姓名

小學作文書 第三 金津堂書片

右ノ書式ニナラヒテ次ギノ文ヲ書キ
取レ。

一。寒中見舞ノ文。

嚴いき寒ふきにはは處所愛りもなくも也
伺ひ上す。

二。遊山ニサソフ文。

明日天氣にはは草狩りには同道仕たく
法部名伺上す。

三。同返事。

明日は様なき用向て他り致さす
中断り中上す。

四。書籍借用ヲ頼ム文。

所大切の修身書兩三冊借仕たく
願三上す。

五。同返事。

所中越の修身書差上り寄るゆる所

小學作文書 第三 二十三 金津堂書片

覽下々るべし。

六。借用品返却ノ文。

所大切の品長々拝借仕り有りがた、存上等りけ今日返とは。

七。同返事。

所用之中小品は返下され正に交申す。

八。花見誘引ノ文。

今日午後より花見に参りたく思召同

ひし。

九。同返事。

折角はさうひされども今日は休致。

十。來訪ヲ謝スル文。

昨日は由出で下されの處何の風情もな

十一。約束ノ物ヲ贈ル文。

市物束の新茶使に持せ差す也。

十二。同返事。

新茶澤山に出贈り下され有りがたし。

十三。診察頼ム文。

母病氣を付一寸出来診下されたくし。

十四。及第ヲ賀スル文。

大試験には及第のよう賀しきりし。

十五。同返事。

及第は祝ひ下され有りがたし有りし。

十六。出席ヲ斷ル文。

昨夜より腹痛致し付今日は参り仕らずし。

十七。新年風ヲ贈ル文。

御年玉の印迹に風貳張進上仕し。

十八。歸宅ヲ報ズル文。

昨日歸宅仕し事告知らせ申し。

十九。人ヲ招ク文。

何の風情もたゞしくいふとも明らむ五時迄より
夕飯を食ふべくし付侍出待ハシ。

二十。同返事。

御招き下さり有りがたくおど奉りし
明らむ五時に参上仕るべくし。

次ギノ題ニ就キテ短キ手紙ヲ作レ。

一。菊ノ花ヲ贈ル文。

二。同返事。

三。病氣見舞ノ文。

四。同返事。

五。遊歩ニサソフ文。

六。同返事。

七。祭禮二人ヲ招ク文。

八。同返事。

九。入學ヲ賀スル文。

十。同返事。

第十課。

金錢ノ受取書。

金錢受取書ノ書キ方ハ手紙品物等ノ受取書ニ同ジケレドモ大抵其ノ受ケ取ル譯ヲ書キ入ルルモノナリ。タトヘバ

覺

一金壹圓也

日本漢本
八冊ノ代

右慥ニ受取中ノ也

年月日

姓名

何某殿

又

覺

一金參圓也

白米貳斗代

一金貳圓也

麦三斗代

一、金五圓也

右様へ受取申上り也

年月日

住所
姓名

何某様

金高ヲ記スニ金何圓ト書キハナス時ハ、
後ニ何拾錢等ヲ書キ添フルノ恐レアレ
バ、必也ト云フ字ヲ添フベシ、厘マデノ位
アル時ハコレニ及バズ。

一、二、三、十、四、字ハ畫少クシテ、他ノ數字
ニ直スコトヲ得ルノ恐レアル故ニ、壹、貳、
參、拾ノ字ヲ用フルヲ常トス。

次ギノ金高ノ受取書ヲ作レ。

一。地理書一部ノ代價金五拾錢。

二。米一俵ノ代價金貳圓五拾錢。

三。白木綿一反代金三拾五錢、木綿縮一反

代金八拾錢。

四。今日間賃金三圓四拾錢、但一日金四拾錢。

五。半紙一束代金貳拾四錢半切二卷代金

拾錢。

第十一課。受取書。

受取書ヲカクニハ猶知ルベキコトアリ。
一。受取書ニハ覺ノ代リニ記ト書クコトアリ。
トアリ、性ニノ代リニ正ニト書クコトアリ。
レドモ其ノ心ハ皆同ジコトナリ。其ノ
外ムツカシキ字ハ用フルニ及バズ。
二。主人不在ノ時ニハ子弟ノ外留守
居ノ人ヨリ受取ヲ出ス故ニ受取人ノ名
ハ何誰内ト書クナリ。貴キ人ノ家ニテ
ハ常ニ召使ト人ヨリ受取ヲ出ス故ニ、イ
フモ何誰内ト書クナリ。

三。貴キ人へ差レ出ス受取書ノ宛名ハ
何殿御使中ト書キ、役所へ差出スモノハ
區役所御中、警察署御中ナドトカクベシ。

記

記

一。御手紙 差通

一。御用状 差通

右正清取申少進

右正清取申少進

年月日 姓名内

年月日 姓名

姓名殿

文部省御中

- 右ノ書式ニナラヒテ左ノ受取ヲ作レ。
- 一。主人留守中ニ主人ノ友人ヨリ手紙一通。
 - 二。同手紙一通菓子折一ツ。
 - 三。出入ノ得意ナル貴キ人ヨリ手紙一通。
 - 四。召使ヒノ人主人ニ代リテ出ス受取書但シ品物ハ紙包二ツ。
 - 五。郡役所ヨリ御用狀一通。
 - 六。警察分署ヨリ御用狀一通。

第十二課。

一般演習。

次ギノ各題ニ就キテ文ヲ作レ。其ノ
 記スベキ趣意ハ各題ノ下ニアゲタリ。

一。鼠。

人家ニ住ム小獸。晝出デズ。

夜半人ノ寢静リタル時出ヅ。

食物ヲ盗ミ食フ。其ノ毛灰色。鼠色。

鼠は人家に住む小獸にして晝は隠れて出

小學作文書 第三 金津堂藏版

てざれども、夜半人の寝静まりたる時出て、食物を盗み食ふ。其の毛は灰色にして、即ねずみ色なり。

二。鳶。

鷹ニ似タル鳥。空中ニ飛ブ。

時時下リテ、食物ヲツカミ去ル。

其ノ毛黒ミアル茶色。鳶色。

三。鯉。

池又ハ川ニ住ム。形鮒ニ似テ、大ナリ。

其ノ味殊ニ好シ。人之レヲ畜フ。

其ノ色多クハ青黒。更紗、白、緋。

四。梅。

早春花開ク。白色又薄紅。

香極メテ好シ。白キハ殊ニ好シ。

實ハ鹽漬。梅干。

五。松。

小學作文書 第三 金津堂藏版

皮ハ鱗ノ如シ。四時葉アリ。

家ヲ作ルニ用フ。器具ヲ作ルニ用フ。

小ナルモノハ薪トナス。

六。泉。

晝ハ匿ル。夜出ヅ。小鳥ヲ捕リテ食フ。

目ハ大ニシテ圓。羽毛鳶色ニシテ軟。

夜更ケテ鳴キテ人ヲ驚ス。

七。猿蟹合戦。

蟹ガ握飯ヲ拾フコトヨリ猿ニ殺サルルマデ。

八。前ノ續キ。

蟹ノ子ガ卵白針等ノ助ケヲ得ルマデ。

九。前ノ續キ。

蟹ノ敵討ノ終リマデ。

十。道筋。

コノ小學校ヨリ〇〇村マデ行ク道筋ヲ委

シク記スベシ。

左ノ口上書ヲ作り、各状袋ノ上書キヲ
ナスベシ。

十一。葱苗配分ヲ頼ム文。

十二。嚴寒ノ時節ニ病氣見舞ノ文。

十三。國元ヨリ到來ノ鮭ヲ贈ル文。

十四。貸シオキタル屏風不用ナラズ返セト云フ文。

十五。同返書。

左ノ受取書ヲ作レ。

十六。二日分ノ賃錢五拾錢

十七。主人留守中ニ手紙一通油紙包一ツ。

十八。區役所ヨリ呼出狀一通。

左ノ文字ヲ含メル文ヲ作レ。

十九。東京隅田川。

隅田川は東京にあり。

二十。人獸手足。

人には二本の手と二本の足あり。

獸には四本の足あり。

一五。鳥巢木。

一四。牛、荷、負、乳、肉、養生。

一三。酒、米、飲、醉、養生、害。

一二。味噌、豆、鹽、麴、汁、養生。

一一。買、賣、正、直、勉、強。

一〇。東京、向、島、櫻、名、所、春、賑。

九。加藤、清、正、武、勇、大、將、朝、鮮、虎、殺。

八。鍔、鍋、釜、庖、刀、鋏、鎌、鍔、道、刀、馬、具、世、必、用。

七。羊、毛、紡、織、羅、紗、衣、服、肉、食、物。

六。米、田、麥、畑、飯、酒、温、飽、團、子、餅。

出、入

書、本

同 二十平四月四日
册終 十八平八月十八日

小學作文書 第三卷 全洋學堂刊

明治十九年八月十八日版權免許
同 二十年四月四日 校正御届

定價金拾二錢

著者

和歌山縣土族
三宅米吉
群馬縣正群馬郡高峯野柳川町
十六番地

出版人

東京府赤坂
原亮三郎
東京日本橋區本町三丁目十七番地

大賣捌所

金港堂原亮三郎支店

岐阜
山

金港堂支店

賣捌所

各府縣下代理大賣捌所

古頃尋常小學校